

平成29年産 夢つくし水稲栽培ごよみ

三井地区農業振興協議会
JA み い
久留米普及指導センター

月	5月		6月		7月			8月			9月			10月	
	旬	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
生育相	は種	育苗		田植	有効分げつ期			無効分げつ期	幼穂形成期		出穂	登熟期		成熟期	
水管理			浅水管理		間断灌水			中干し	間断灌水		浅水管理	間断灌水			
主な作業	ミネラルG又は麦わらすき込み(耕起前)		●基肥	●田植坪60株植え	●除草剤			茎数の早期確保			●穂肥(幼穂長3〜5mm程度)	●出穂期	●落水		●成熟期(出穂後35日頃)
病害虫防除対策	粉剤体系	田植3日前〜当日		リンパー箱粒剤 ブリンズ 50g/箱	ウシカ類・紋枯病 コブノメイガ	スクミノン 4kg/10a	ジャンボタニシ	カメムシ いもち病・ウシカ		スタークル粒剤 3kg/10a	ウシカ・カメムシ				
	液剤体系	田植3日前〜当日		リンパー箱粒剤 ブリンズ 50g/箱	ウシカ類・紋枯病 コブノメイガ	スクミノン 4kg/10a	ジャンボタニシ	カメムシ いもち病・ウシカ		スタークル水溶剤 2000倍	ウシカ・カメムシ		10a当り100g散布 1000倍で薬量100ml 2000倍で薬量50ml		
	粒剤体系	緑化期〜当日		ブイゲットブリンズ 50g/箱	ウシカ類・いもち病 白葉枯病	スクミノン 4kg/10a	ジャンボタニシ	コブノメイガ アブロード		スタークル粒剤 3kg/10a	ウシカ・カメムシ				

※白葉枯病対策 ブイゲットブリンズリンパーL粒剤 50g/箱当り 緑化期〜田植当日 ※いもち病対策 コラトップ粒剤5 3〜4kg/10a当り 出穂5日前まで

土づくり

1. 地力増進のため、麦わら・稲わらは全量すき込みましょう。または、大地めぐみちゃん(堆肥) 1t/10a 施用し有機物をおぎないましょう。
2. 土壌改良資材(ミネラル G または、珪鉄を100〜200kg)を施用しましょう。

塩水選と種子消毒

○塩水選

種子の種類	比重	水10ℓに溶く量	
		食塩(kg)	硫酸(kg)
うるち	1.13	1.94	2.68

(食塩か硫酸かどちらか一方を溶く)

生卵による目安



○種子消毒(ばか苗病・いもち病・心枯線虫・もみ枯細菌病)

水10ℓ(粃5.5kg分)当り
(テクリードCフロアブル 50ml)
(スミチオン乳剤 10ml)

の混合液に、24時間浸漬する。

※薬剤の量を厳守する。

※浸漬中に2回の攪拌を行なう。

○種子消毒後は水洗いせず、その後停滞水につけ1日1回水を換え、芽出しを行なう。

※種子消毒の残液が河川や地下水などに流入しないよう注意する。

一般水田雑草除草剤使用基準

◎初・中期一発除草剤

時期	除草剤名	10a当り使用量	使用時期	使用目安時期(移植後日数)
初・中期一発	ガンガン1キロ粒剤	1kg	田植同時〜ノビエ3葉期	0〜12日
	サラブレットKAI1キロ粒剤	1kg	田植同時〜ノビエ2.5葉期	0〜10日
	クサトリエースLジャンボ	10パック(小包装)	移植後3日〜ノビエ2.5葉期	3〜10日
	パットフルLジャンボ	10パック(小包装)	移植後1日〜ノビエ2.5葉期	1〜10日
	パッチリフロアブル	500ml(1本)	田植同時〜ノビエ2.5葉期	0〜10日
ポデーガードフロアブル	500ml(1本)	移植後5日〜ノビエ3葉期	5〜12日	

①除草効果を高めるため、散布後7日間以上水を保つ。

②移植時処理については、田植同時散布機で施用する。

③次のような事項は薬害が生じる可能性があるため注意しましょう。

- ・田面が不均一な場合、軟弱苗や極端な浅植え等での使用
- ・強風下での使用
- ・フロアブル剤、ジャンボ剤の漏水田での使用(特にジャンボ剤については水深5cm程度を保つ。)

◎中・後期除草剤

適用雑草	除草剤名	使用量	使用時期	使用上の注意
		10a当り		
広葉雑草 コナギ・ウリカワ等	バサグラン粒剤	3kg	移植後15〜40日(広葉のみ) ただし、収穫60日前まで	落水散布又は ごく浅く湛水して散布
水田一年生雑草 ノビエ(5葉期)	ワイドアタックSC	100ml	移植後20日〜ノビエ5葉期 ただし、収穫30日前まで	
イネ科雑草 ノビエ(6葉期)	クリンチャーEW	100ml	移植後20日〜ノビエ6葉期 ただし、収穫30日前まで	湛水散布又は落水散布

※①薬剤ごとに適用葉数、水管理、使用時期が異なるのでラベル等をよく読んで使用して下さい。

②効果を高めるため少なくとも3日程度は散布時の状態を保つ。降雨があっても7日間は落水しない。

施肥基準

◎夢つくし

(kg/10a)

施肥例	基肥	施肥量	穂肥	施肥量
I	みい 極 464 又は ちくごのめぐみ 444	35kg	みい 極 606	20kg
II	一発タイプ 夢ごころ一発	35kg		—

品種特性表

(出穂期・成熟期はJAみい調査データ)

品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	m ² 当り 穂数本	耐倒 伏性	玄米 千粒重 g	10a当り 収量 kg	品質	食味	耐病性	
											いもち	白葉枯
夢つくし	8/16	9/19	76	17.4	361	やや強	23.8	510	上の中	上の上	弱	やや弱

・良食味維持のため過度の施肥は行わない。

・いもち病に弱いので適期防除に努める。

農薬使用上の注意

① 粉剤は散布後、殺菌剤で6時間、殺虫剤で3時間以内に降雨にあった場合は効果が劣るので天候に注意して散布しましょう。

② 農薬によるミツバチへの危害防止のため、稲の開花期に農薬の使用は避けましょう。

③ 安全・安心な農産物を確保するため(ポジティブリスト制度)以下のことに注意しましょう。

- ・この暦は、平成29年1月時点の登録情報に基づいて作成しています。
- ・農薬の登録内容は随時変更されますので、使用上の注意をよく読んで使用基準を遵守しましょう。
- ・周辺作物へ農薬の飛散がないように注意しましょう。

※収穫前に栽培日誌の提出をお願いいたしますので、農薬による防除を行った場合必ず記入して下さい。

米は全量JAへ

平成29年2月作成